

# I 学生の健康管理

# I 学生の健康管理

## 1. 定期健康診断

### 1) 対象と概要

保健管理センターでは、本学に在籍する全ての学生(学部生、大学院生、留学生、研究生等)を対象として、健康診断を年1回実施している。

本学は、山口市(吉田地区)と宇部市(常盤地区、小串地区)にキャンパスが分散している。吉田地区には人文学部・教育学部・経済学部・理学部・農学部・共同獣医学部・国際総合科学の7学部、常盤地区には工学部、小串地区には医学部があり、キャンパスごとに健診会場を設けて実施している。各地区の健康診断は、健診スタッフや健診機器台数の都合上、実施時期が重ならないよう計画・調整している。なお、健康診断の実施、方法および技術的基準については、学校保健安全法および学校保健安全法施行規則に準拠して行っている。

①新入生健康診断：全学部新入生を対象に実施。健康診断会場は吉田地区保健管理センター。

(実施期間) 2018年：4月3日～7日(実質4日)、2019年：4月2日～6日(実質3.5日)

②在学生健康診断：4月1日現在で2年生以上の学部生、大学院生、留学生、研究生等を対象に実施。

各年度の健診会場及び実施期間は以下の通り。

<吉田地区> (健診会場) 保健管理センター(事務局1号館)

(実施期間) 2018年：4月10日～19日、2019年：4月9日～18日(各年度実質7.5日)

<常盤地区> (健診会場) 工学部福利厚生棟・本館西棟セミナー室

(実施期間) 2018年：4月23日～26日、2019年：4月22日～25日(各年度実質3.5日)

<小串地区> (健診会場) 医学部医心館(福利厚生棟)

(実施時期) 2018年：5月7日～8日、2019年：5月13日～14日(各年度実質2日)

表1 各検査の対象者および検査項目

		身長	体重	視力	聴力	血圧	尿検査	心電図	内科診察	胸部X線	問診	備考	
新入生		◎	◎	◎	—	◎	◎	◎	○	◎	◎	心理検査(UPI・SDS等)を全員に実施	
吉田地区	学部生	2年	◎	◎	△	△	◎	◎	△	○	△	◎	
		3年	◎	◎	△	△	◎	◎	△	○	△	◎	
		4年	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	共同獣医4年生は同学部5年生と同項目
		5年	◎	◎	△	△	◎	◎	△	○	△	◎	共同獣医学部
		6年	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	
	大学院生	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	修士、博士課程	
宇部地区	学部生	2年	◎	◎	△	△	◎	◎	○	◎	△	—	医学部2・3年生は必須ではないが胸部X線検査の受診を推奨
		3年	◎	◎	△	△	◎	◎	○	◎	△	—	
		4年	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	—	医学科4年生は同学科5年生と同項目
		5年	◎	◎	△	△	◎	◎	○	◎	◎	—	医学部医学科
		6年	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	—	
	大学院生	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	—	修士、博士課程
留学生 研究生等		基本的には、全検査項目											

本学で実施している検査項目と各検査項目の対象者を表1に示した。◎印は全員が行う項目(必須項目)、○印は医師が必要と判断した者、△印は必須項目ではないが検査を希望する者あるいは毎年検査の指示を受けている者に行う項目を表す。

## 2) 受診状況

2018年度及び2019年度の学部別定期健康診断受診状況を表2～7に示した。

(受診状況には学外医療機関受診し、結果を提出した学生(2018年度70名、2019年度30名)を含む)

### (1) 2018年度

#### ①学部新入生

表2 新入生受診状況(2018年度)

	人文	教育	経済	理	農	共同獣医	国際総合科学	医	工	全体
受診者数	198	187	361	221	103	32	102	228	531	1963
対象者数	198	187	361	221	103	32	102	228	531	1963
受診率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※入学者2019年中入学直後から休学2名を除外し集計

#### ②学部在学学生

表3 在学生受診状況(2018年度)

		教育	経済	理	農	共同獣医	国際総合科学	工	医	学部全体
受診者数	497	552	845	576	303	157	170	1374	941	5415
対象者数	612	620	1179	721	325	163	206	1840	977	6643
受診率	81.2	89.0	71.7	79.9	93.2	96.3	82.5	74.7	96.3	81.5

	学部						学部全体	
		2年	3年	4年	5年	6年		
吉田地区	人文学部	受診者数	163	158	176			497
		対象者数	208	173	231			612
		受診率	78.4	91.3	76.2			81.2
	教育学部	受診者数	189	182	181			552
		対象者数	192	191	237			620
		受診率	98.4	95.3	76.4			89.0
	経済学部	受診者数	229	293	323			845
		対象者数	348	361	470			1179
		受診率	65.8	81.2	68.7			71.7
	理学部	受診者数	186	198	192			576
		対象者数	232	279	210			721
		受診率	80.2	71.0	91.4			79.9
農学部	受診者数	107	96	100			303	
	対象者数	116	101	108			325	
	受診率	92.2	95.0	92.6			93.2	
共同獣医学部	受診者数	33	32	30	33	29	157	
	対象者数	34	32	33	34	30	163	
	受診率	97.1	100.0	90.9	97.1	96.7	96.3	
国際総合科学部	受診者数	90		80			170	
	対象者数	104		102			206	
	受診率	86.5	留学中	78.4			82.5	
小串地区	医学部	受診者数	251	234	238	112	106	941
		対象者数	260	247	241	115	114	977
		受診率	96.5	94.7	98.8	97.4	93.0	96.3
常盤地区	工学部	受診者数	401	500	473			1374
		対象者数	540	755	545			1840
		受診率	74.3	66.2	86.8			74.7
学部全体	受診者数	1649	1693	1793	145	135	5415	
	対象者数	2034	2139	2177	149	144	6643	
	受診率	81.1	79.1	82.4	97.3	93.8	81.5	

#### ③大学院生

表4 大学院生受診状況(2018年度)

	山口地区	常盤地区	小串地区	全体
受診者数	363	604	71	1038
対象者数	509	762	211	1482
受診率	71.3	79.3	33.6	70.0

## (2) 2019年度

## ①学部新入生

表5 新入生受診状況 (2019年度)

	人文	教育	経済	理	農	共同獣医	国際総合科学	医	工	全体
受診者数	198	187	361	221	103	32	102	228	531	1963
対象者数	198	187	361	221	103	32	102	228	531	1963
受診率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※入学者1969名中入学直後から休学6名を除外し集計

## ②学部在学生

表6 在学生受診状況 (2019年度)

		教育	経済	理	農	共同獣医	国際総合科学	工	医	学部全体
受診者数	494	569	841	563	284	160	261	1452	969	5593
対象者数	622	598	1166	725	315	165	322	1867	987	6767
受診率	79.4	95.2	72.1	77.7	90.2	97.0	81.1	77.8	98.2	82.7

学部		2年	3年	4年	5年	6年	学部全体	
吉田地区	人文学部	受診者数	171	159	164		494	
		対象者数	223	188	211		622	
		受診率	76.7	84.6	77.7		79.4	
	教育学部	受診者数	193	186	190		569	
		対象者数	193	192	213		598	
		受診率	100.0	96.9	89.2		95.2	
	経済学部	受診者数	266	278	297		841	
		対象者数	348	346	472		1166	
		受診率	76.4	80.3	62.9		72.1	
	理学部	受診者数	190	186	187		563	
		対象者数	228	273	224		725	
		受診率	83.3	68.1	83.5		77.7	
	農学部	受診者数	87	103	94		284	
		対象者数	103	109	103		315	
		受診率	84.5	94.5	91.3		90.2	
	共同獣医学部	受診者数	31	33	32	29	35	160
		対象者数	32	34	35	29	35	165
		受診率	96.9	97.1	91.4	100.0	100.0	97.0
	国際総合科学部	受診者数	87	90	83			261
		対象者数	103	103	116			322
		受診率	84.5	88.3	71.6			81.1
小串地区	医学部	受診者数	246	242	244	117	120	969
		対象者数	254	251	244	117	121	987
		受診率	96.9	96.4	100.0	100.0	99.2	98.2
常盤地区	工学部	受診者数	499	458	495			1452
		対象者数	571	732	564			1867
		受診率	87.4	62.6	87.8			77.8
学部全体	受診者数	1770	1735	1786	146	155	5593	
	対象者数	2055	2228	2182	146	156	6767	
	受診率	86.1	77.9	81.9	100.0	99.4	82.7	

## ③大学院生

表7 大学院生受診状況 (2019年度)

	山口地区	常盤地区	小串地区	全体
受診者数	368	588	69	1025
対象者数	474	693	220	1387
受診率	77.6	84.8	31.4	73.9

### 3) 新入生健康診断

#### (1) 新入生健康調査

本学では、新入生のメンタルスクリーニングとして、UPI（大学人格検査）、SDS（Zung 自己評価式うつ病尺度）、Eating Attitude Test-26（EAT-26）を実施している。スクリーニングテストは健康診断票および健康診断問診票と共に「入学の手引き」に綴じこまれている。

スクリーニングの目的は、発病する可能性の高い学生や罹病学生を入学後の早い時点で発見し、健康教育や保健指導を行うこと、必要な治療へつなげることである。回答用紙（マークシート）の提出は新入生健康診断時であり、回答用紙回収率は2018年度が97.7%、2019年度が97.8%であった。（表8）。

スクリーニングの呼出基準は、UPI と SDS に関しては、①「UPI-LS 得点（UPI 総得点から Lie スコア得点を減算）が30点以上」および「SDS 総得点が50点以上」、②「UPI 質問項目25番（死にたくなる）にチェックしている」のいずれかに該当する学生が対象である。また、EAT-26 に関しては、合計点20点以上もしくは無月経（既往含む）の項目に○をつけている学生が対象である。面談来室時に看護職が身体計測、家族歴や生活状況の聴取を担当し、呼出の内容に応じて精神科医および臨床心理士による面談を実施している。面談は学生定期健康診断終了後の5月中旬から実施している。

2018年度及び2019年度の健康調査における呼出対象者数及びスクリーニング検査（面談）受診状況を表9～12に示した。表に示されている通り、呼び出し対象者の面談受診率は2018年度が97.4%、2019年度は91.3%と2015年度以降は9割以上の面談率となっている。（2014年度までは5割と低値であった。）

面談後の事後措置としては「異常なし」が大多数であるが、「要治療」の判定となった者は2018年度が5名、2019年度が6名であった。

呼び出しの連絡は個別に電話やメールにて連絡を取り、面談受診につなげている。

表8 健康調査票回収率

		2018年度			2019年度		
		対象者数	回収数	回収率%	対象者数	回収数	回収率%
人	文	208	204	97.8	198	193	97.5
教	育	192	188	99.0	187	187	100.0
経	済	349	343	97.2	361	356	98.6
	理	229	223	96.5	222	217	97.7
医	医	107	105	98.1	107	101	94.4
	保健	121	120	99.2	121	120	99.2
	工	575	549	97.7	534	518	97.0
	農	100	98	98.1	104	100	96.2
	共同獣医	33	31	100.0	32	32	100.0
	国際総合科学部	105	102	96.2	103	102	99.0
	合計	2019	1963	97.7	1969	1926	97.8

表9 学部別・メンタルスクリーニングテスト別呼出対象者数（2018年度）

		EAT-26	UPI/SDS	U25のみ	EAT+U25	合計
人文		9	9	11	0	30
教育		7	5	4	0	16
経済		13	3	15	2	35
理		9	4	11	1	25
医	医	7	0	0	7	11
	保健	5	1	8	5	10
工		16	6	16	0	39
農		3	4	3	1	11
共同獣医		1	0	1	0	2
国際総合科学部		8	0	3	1	12
合計		78	32	72	5	191

表10 呼出対象者の面談受診状況及び事後措置（2018年度）

	呼出 対象者数	面談 受診者数	面談 受診者率 (%)	事後措置				
				異常なし	要観察	要治療	判定保留	
人文	30	30	100.0	21	9	0	0	
教育	16	15	93.8	11	3	1	0	
経済	35	34	97.1	23	10	1	0	
理	25	24	96.0	18	6	0	0	
医	医	11	10	90.9	9	1	0	0
	保健	21	10	47.6	7	3	0	0
工	39	38	97.4	34	4	0	0	
農	11	11	100.0	8	3	0	0	
共同獣医	2	2	100.0	2		0	0	
国際総合科学部	12	12	100.0	8	1	3	0	
合計	191	186	97.4	141	40	5	0	

表11 学部別・メンタルスクリーニングテスト別呼出対象者数（2019年度）

		EAT-26	UPI/SDS	U25のみ	US+U25	EAT+U25	合計
人文		9	0	11	0	2	23
教育		8	5	6	0	1	20
経済		13	6	8	0	0	27
理		4	7	12	0	1	24
医	医	4	1	3	0	0	8
	保健	14	0	2	0	0	16
工		9	8	17	0	1	35
農		2	2	6	0	0	10
共同獣医		0	0	1	0	1	2
国際総合科学部		3	0	3	0	1	7
合計		66	29	69	0	7	172

表 12 呼出対象者の面談受診状況及び事後措置（2019 年度）

	呼出 対象者数	面談 受診者数	面談 受診者率 (%)	事後措置			
				異常なし	要観察	要治療	判定保留
人文	23	23	100.0	15	6	1	0
教育	20	19	95.0	14	3	2	0
経済	27	23	85.2	22	1	0	0
理	24	21	87.5	12	8	1	0
医	医	7	87.5	6	1	0	0
	保健	16	81.3	11	1	1	0
工	35	34	97.1	29	5	0	0
農	10	9	90.0	7	2	0	0
共同獣医	2	2	100.0	0	2	0	0
国際総合科学部	7	6	85.7	5	0	1	0
合計	172	157	91.3	121	29	6	0

## (2) 新入生健康診断概況

学生健康診断票と新入生健康診断問診票は、入学の手引きに綴じ込み、入学手続き関係書類とともに事前に配布している。特異体質や既往歴なども含めて事前に自宅で記入し、健康診断当日に持参することになっている。また、問診票には保護者からの要望記入欄も設けている。さらに、学生健康診断票の裏面には学校感染症の罹患歴や予防接種自己申告書欄があり、記入された情報を感染症対策に活用している。健康診断受診の周知徹底により、2018・2019年度の学部新入生の受診率も100%を達成した。なお、入学後すぐに休学となった学生については受診対象外とした(2018年度2名、2019年度6名)。

## (3) 新入生健康診断結果

### ①身長・体重計測

2018年度と2019年度のBMI判定結果を表13に、最近5年間のBMI判定結果を図1、2に示した。男女ともに70%強は基準値内にあるが、男子の肥満、女子のやせの動向には引き続き注意を要する。

表13 BMI判定結果

年度	対象者数		受検者数 (%)	判定結果区分(%)					
				やせ	適正	肥満1度	肥満2度	肥満3度	肥満4度
2018	男	1213	1212(99.9)	180(14.9)	861(71.0)	141(11.6)	26(2.1)	3(0.2)	1(0.1)
	女	804	804(100.0)	138(17.2)	609(75.4)	50(6.2)	6(0.7)	1(0.1)	0(0.0)
	計	2017	2016(99.9)	318(15.8)	1470(72.9)	191(9.5)	32(1.6)	4(0.2)	1(0.05)
2019	男	1150	1150(100.0)	159(13.8)	848(73.7)	116(10.1)	18(1.6)	8(0.7)	1(0.1)
	女	813	813(100.0)	125(15.4)	635(78.1)	44(5.4)	5(0.6)	3(0.4)	1(0.1)
	計	1963	1963(100.0)	284(14.5)	1483(75.5)	160(8.2)	23(1.2)	11(0.6)	2(0.1)

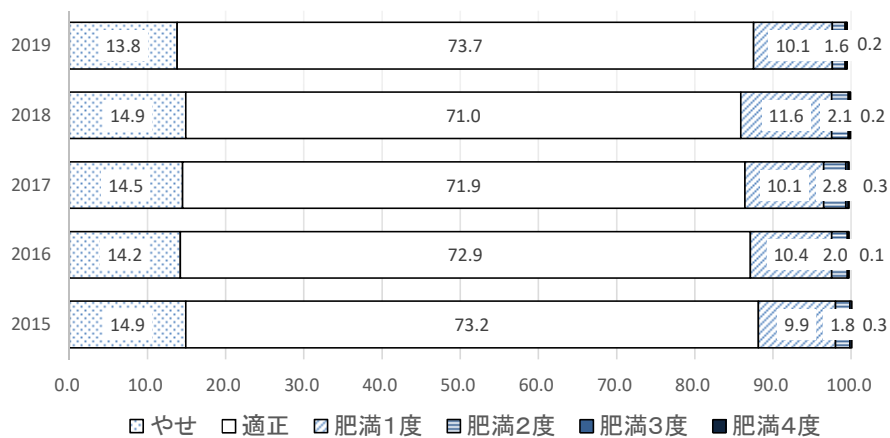


図1 BMI判定区分(男子)

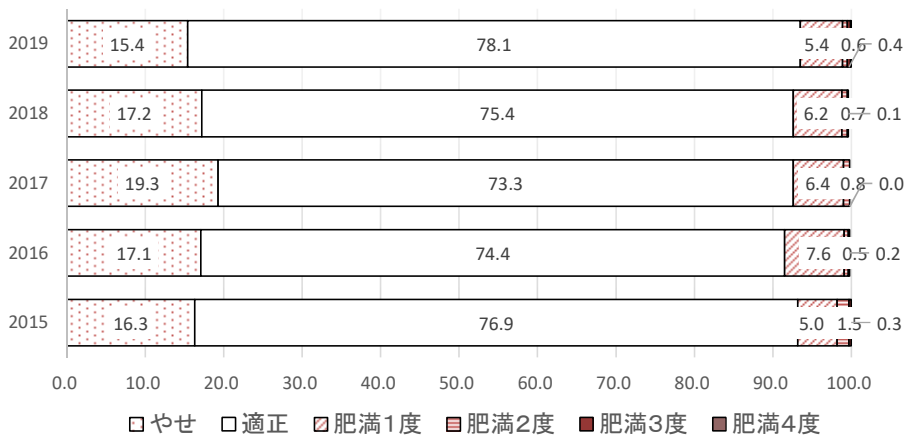


図2 BMI判定区分(女子)



## ②血圧測定

2018年度と2019年度の血圧測定結果を表14に、年度別有所見率(男女別)を図3、4に示した。

一次検査における有所見率の推移に大きな変化はなく、2018年度6.3%、2019年度は6.1%(前回:5.5%<2016>、6.2%<2017>)、男子は境界域高血圧、女子は低血圧が目立つ傾向にあった。各年度ともに二次検査の受検率は70%程度に留まっている。

表14 血圧測定結果

年度	対象者数		受検者数 (%)	一次検査				二次検査(呼出結果)				
				高血圧	境界域	正 常	低血圧	対象 者数	指導区分			
									異常 なし	経過 観察	病院 紹介	未検 査
2018	男	1213	1212(99.9)	7	92	1111	2	46	32	1	0	13
	女	804	804(100.0)	2	8	779	15	8	6	0	0	2
	計	2017	2016(99.9)	9	100	1890	17	54	38	1	0	15
2019	男	1150	1150(100.0)	20	87	1038	5	70	45	5	0	20
	女	813	813(100.0)	1	2	805	5	1	0	0	0	0
	計	1963	1963(100.0)	21	89	1843	10	71	45	5	0	20

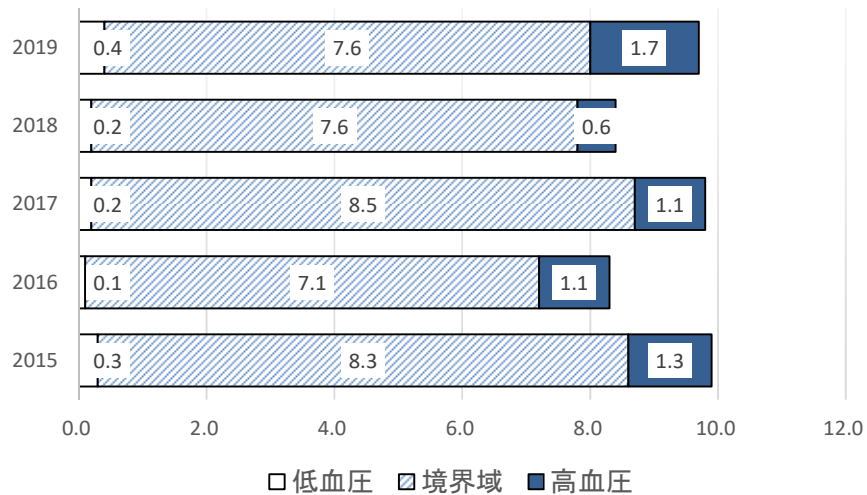


図3 血圧有所見率(男子)

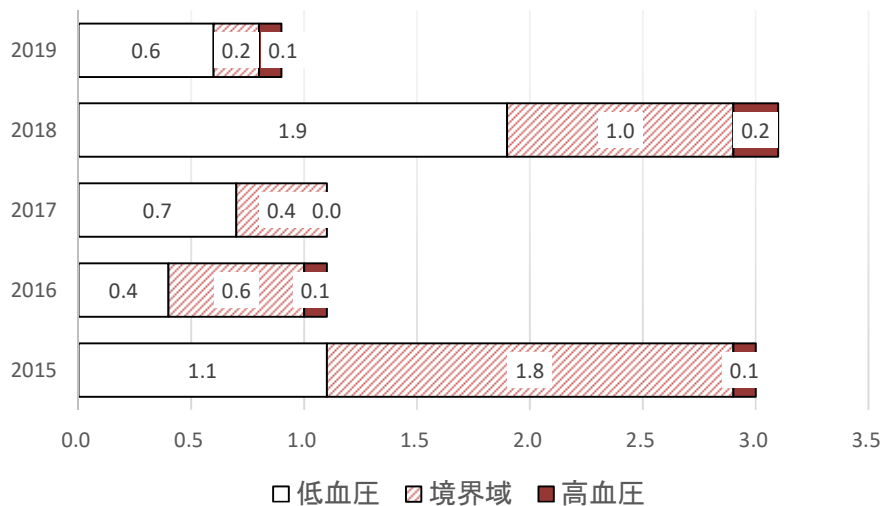


図4 血圧有所見率(女子)

### ③尿検査

2018年度と2019年度の尿検査結果を表15に示した。

一次検査における有所見率は、2018年度は13.3%、2019年度は11.4%であった(前回:11.9%<2016>、11.0%<2017>)。最も多い所見は「蛋白尿」であった。なお、二次検査の受検率は、2018年度は88.0%、2019年度は94.8%と改善していた(前回:71.8%<2016>、84.6%<2017>)。再検査お知らせの際に詳しく説明し、また、健康診断証明書申請時に未受診者に再検査を促していることも、有効であると思われた。

表15 尿検査結果

年度	対象者数		受検者数	一次検査							二次・三次検査(再検結果)				病院紹介件数
				有所見者	有所見内訳			指導区分			受検者数	指導区分			
					蛋白	糖	潜血	異常なし	経過観察	再検紹介		異常なし	経過観察	要精査	
2018	男	1213	1210	159	106	9	54	1051	34	125(2)	108	97	3	8	10
	女	804	799	109	46	1	70	690	32	77	68(1)	66(1)	1	1	1
	計	2017	2009	268	152	10	124	1741	66	202(2)	176(1)	163(1)	4	9	11
2019	男	1150	1143	116	65	10	47	1027	27	89(5)	78(2)	72(2)	2	4	8
	女	813	805	106	50	5	57	699	32	74(3)	69(2)	65(1)	0	4(1)	6
	計	1963	1948	222	115	15	104	1726	59	163(8)	147(4)	137(3)	2	8(1)	14

※一次検査の有所見内訳は延べ数、指導区分の( )内の数値は病院紹介者数で内数

※二次・三次検査(再検結果)の( )内の数値は三次検査実施者数で外数

### ④胸部X線検査

2018年度と2019年度の胸部X線検査結果を表16に示した。

一次検査での肺野有所見率は、2018年度は1.4%、2019年度は1.4%であった(前回:0.7%<2016>、1.6%<2017>)。

表16 胸部X線検査結果

年度	対象者数		受検者数 (%)	一次検査						二次検査(病院紹介結果)			
				有所見者	所見内訳		指導区分			受検者数	指導区分		
					肺野	肺野外	異常なし	経過観察	病院紹介		異常なし	経過観察	精密検査
2018	男	1213	1029(99.7)	18	17	1	1195	1	16	15	12	2	1
	女	804	803(99.9)	10	10	0	794	0	10	10	9	1	0
	計	2017	2012(99.8)	28	27	1	1989	1	26	25	21	3	1
2019	男	1150	1149(100.0)	17	11	6	1142	3	5	5	3	1	1
	女	813	813(100.0)	10	2	8	811	0	2	1	1	0	0
	計	1963	1962(99.9)	27	13	14	1953	3	7	6	4	1	1

⑤内科診察・問診(自覚症状及び既往歴等)

2018年度と2019年度の間診票所見結果を表17に、年度別有所見率を図5に示した。

自覚症状を中心とした有所見者数の割合は、2018年度は22.5%、2019年度は25.0%であった(前回:32.2%<2016>、46.0%<2017>)。保健管理センター専任医師が内容・所見再確認等で絞り込むことで、二次検査対象者の割合は1.1~1.2%程度であった。

表17 内科診察・問診所見結果

年度	対象者数		受検者数(%)	一次検査			二次検査(呼出結果)				
				有所見者(%)	指導区分			受検者数	指導区分		
					異常なし	経過観察	要精査要治療		異常なし	経過観察	病院紹介
2018	男	1213	1029(99.7)	228(23.8)	921	270	18	18	1	12	5
	女	804	803(99.9)	166(20.7)	637	159	7	7	0	4	3
	計	2017	2012(99.8)	454(22.5)	1558	429	25	25	1	16	8
2019	男	1150	1149(99.9)	343(29.9)	806	329	14	13	0	7	6
	女	83	813(100.0)	147(18.1)	666	140	7	4	0	1	3
	計	1963	1962(99.9)	490(25.0)	1472	469	21	17	0	8	9

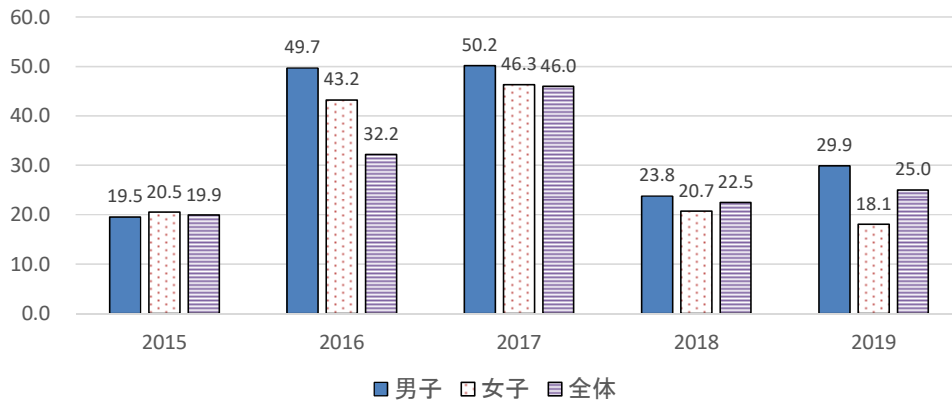


図5 自覚症状有所見率

⑥心電図検査

2018年度と2019年度の心電図検査結果を表18に示した。

一次検査における有所見率は、新しい心電計の自動判定と保健管理センター専任医師の判定を組み合わせることで、2018年度は2.5%、2019年度は2.0%であった(前回:32.8%<2016>、24.9%<2017>)。さらに、附属病院循環器内科非常勤医師に判定を依頼した結果、要精査となる例はなかった。

表18 心電図検査結果

年度	対象者数		受検者数(%)	一次検査			二次検査(病院紹介結果)				
				有所見者(%)	指導区分			受検者数	指導区分		
					異常なし	経過観察	病院紹介		異常なし	経過観察	精密検査
2018	男	1213	1209(99.7)	39(3.2)	1170	29	10	10	10	0	0
	女	804	803(99.9)	12(1.5)	791	7	5	5	3	2	0
	計	2017	2012(99.8)	51(2.5)	1961	36	15	15	13	2	0
2019	男	1150	1148(99.8)	31(2.7)	1117	24	7	3	3	0	0
	女	813	813(100.0)	9(1.1)	804	7	2	1	1	0	0
	計	1963	1961(99.9)	40(2.0)	1921	31	9	4	4	0	0

## 4) 在学生健康診断

### (1) 学部生健康診断概況

キャンパスごと(吉田・常盤・小串)に健康診断会場を設け、各地区で1日あたりの受診者数が平均化するよう、男女別や学部学科・学年別に受診枠を割り振って実施している。指定された日時で都合の悪い学生には、個別に相談に応じ、他地区の健康診断期間内での受診案内や大学周辺の健康診断実施可能な外部医療機関の案内を行うなどの便宜を図っている。

過去10年間の学部学生の学部別健康診断受診率を図6に、学年別健康診断受診率を図7に示した。

全体で見ると受診率は増加傾向にある。実習、就職活動で健康診断証明書を要する学生が多く、特別健康診断(スポーツ競技大会への参加前等)の受診条件として、定期健康診断受診を義務付けたことも、受診率向上につながった。

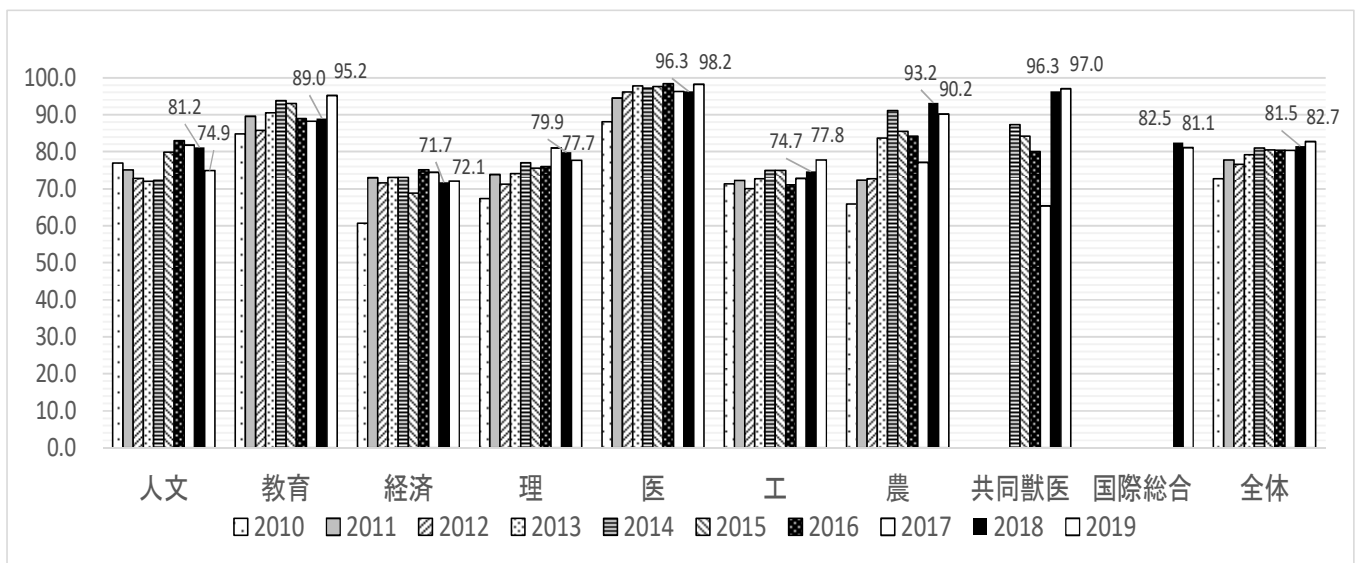


図6 学部別受診率(過去9年間)

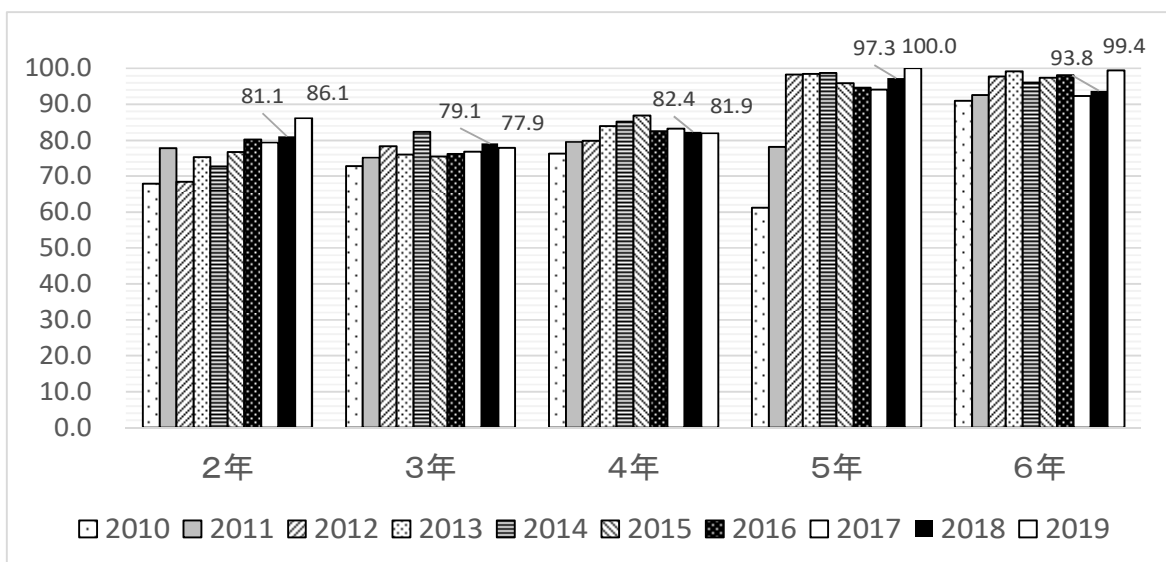


図7 学年別受診率(過去9年間)

### (2) 学部生健康診断結果

#### ①身長・体重計測

2018年度と2019年度の学部学生のBMI判定結果を表19に、最近5年間のBMI判定区分を図8、9に示した。

過去5年間、男女とも75%以上が適正な範囲内で、その割合に大きな変化はなかった。

表 19 BMI 判定結果

年度	対象者数	受検者数(%)	判定結果区分(%)						
			やせ	適正	肥満1度	肥満2度	肥満3度	肥満4度	
2018	男	4122	3089(74.9)	403(13.0)	2317(75.0)	288(9.3)	66(2.1)	12(0.4)	3(0.1)
	女	2626	2291(87.2)	384(16.8)	1752(76.5)	132(5.8)	21(0.9)	1(0.04)	1(0.04)
	計	6748	5380(79.7)	787(14.6)	4069(75.6)	420(7.8)	87(1.6)	13(0.2)	4(0.1)
2019	男	4141	3171(76.6)	381(12.0)	2396(75.6)	309(9.7)	68(2.1)	17(0.5)	0
	女	2626	2268(86.4)	357(15.7)	1753(77.3)	139(6.1)	16(0.7)	2(0.1)	1(0.04)
	計	6767	5439(80.4)	738(13.6)	4149(76.3)	448(8.2)	84(1.5)	19(0.3)	1(0.04)

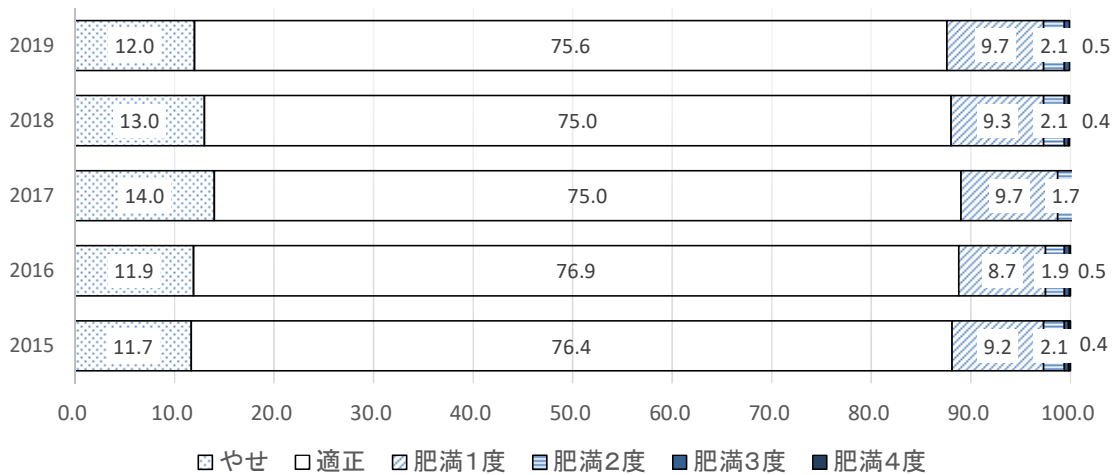


図 8 BMI 判定区分(男子)

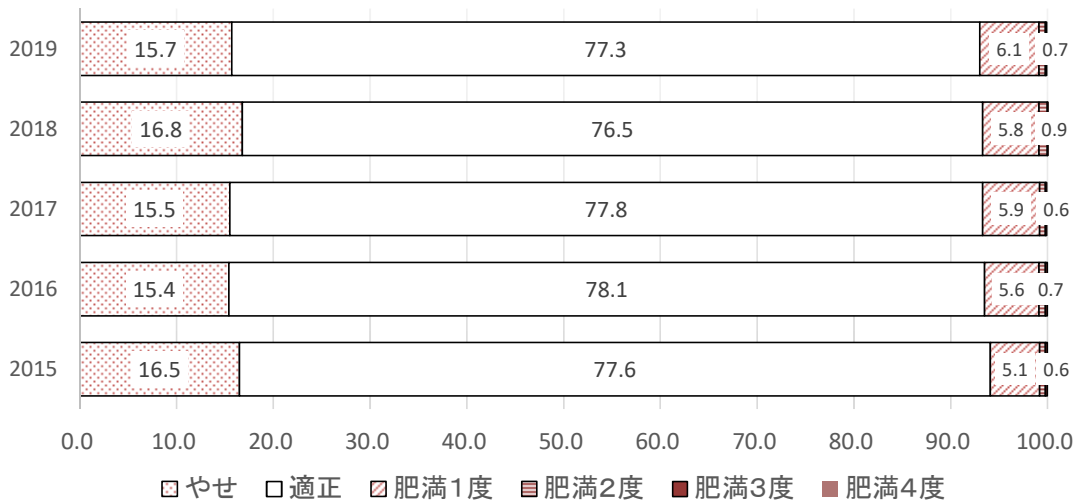


図 9 BMI 判定区分(女子)

## ②血圧測定

2018年度と2019年度の学部学生の血圧測定結果を表20に、最近5年間の年度別一次検査有所見率を図10、11に示した。

一次検査における有所見者の割合をみると、男子では2018年度7.2%、2019年度6.5%(前回:6.7%<2016・2017>)であり、女子ではともに1.9%(前回:1.9%<2016>、2.5%<2017>)であった。男子では「境界域」に該当する者が多く、有所見者も女子より多い。一方、女子の有所見者の多くは低血圧該当者である。

表 20 血圧測定結果

年度	対象者数		受検者数 (%)	一次検査				二次検査(呼出結果)				
				高血圧	境界域	正 常	低血圧	対象 者数	指導区分			
									異常 なし	経過 観察	病院 紹介	未検 査
2018	男	4122	3089(75.0)	35	181	2866	7	138	83	14	0	41
	女	2626	2292(87.3)	9	10	2248	25	11	5	2	1	3
	計	6748	5381(79.7)	44	191	5114	32	149	88	16	1	44
2019	男	4141	3171(76.6)	28	174	2965	4	115	78	14	0	23
	女	2626	2268(86.4)	5	14	2225	24	13	10	2	0	1
	計	6767	5439(80.4)	33	188	5190	28	128	88	16	0	24

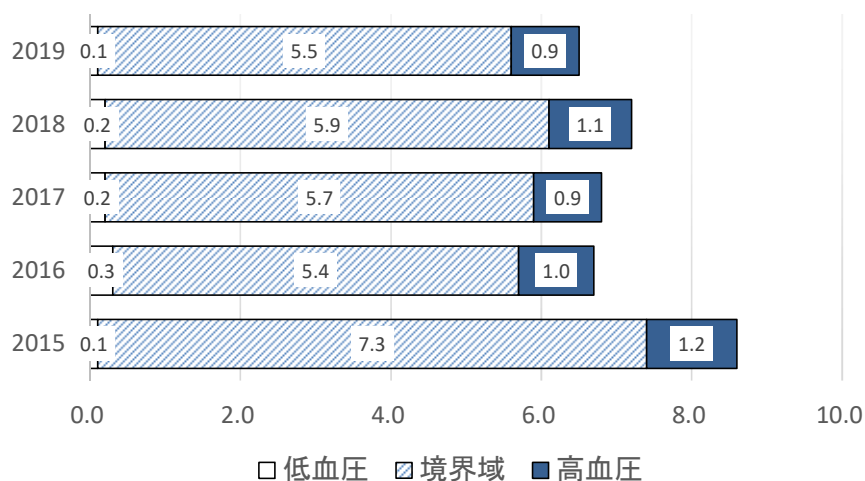


図 10 血圧有所見率(男子)

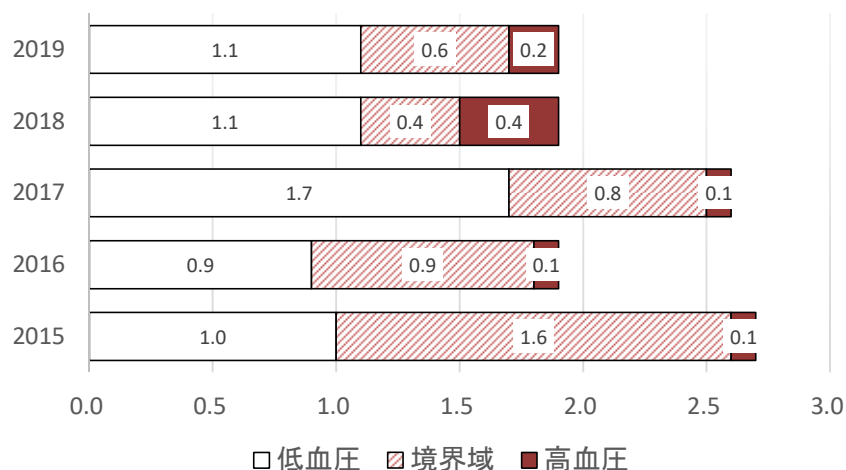


図 11 血圧有所見率(女子)

### ③尿検査

2018年度と2019年度の尿検査結果を表21に示した。

一次検査における有所見率は、2018年度9.4%、2019年度6.6%(前回:5.2%<2016>、7.1%<2017>)で、生理中や毎回随時尿で有所見者には、後日提出の早朝尿検査を勧めている。

また、二次検査の受検率は2018年度86.1%、2019年度81.2%(前回:81.0%<2016>、前回77.9%<2017>)であった。再検査お知らせの際、検査方法等を個別に詳しく説明し、また、健康診断証明書申請時に未受

診者に再検査を促している。また、再検査期間終了後は、個別に電話連絡などを行っている。

表 21 尿検査結果

年度	対象者数		受検者数	一次検査							二次・三次検査(再検結果)				病院紹介件数
				有所見者	有所見内訳			指導区分			受検者数	指導区分			
					蛋白	糖	潜血	異常なし	経過観察	再検紹介		異常なし	経過観察	要精査	
2018	男	4122	3085	215	106	28	38	2870	58	157(6)	127	116	4	7	13
	女	2626	2237	283	104	14	87	1954	92	191(5)	163(3)	151(3)	3	9	11
	計	6748	5322	498	210	42	125	4824	150	348(11)	290(3)	267(3)	7	16	24
2019	男	4141	3171	174	67	16	98	2997	70	104(5)	71(1)	61	1	9(1)	15
	女	2626	2251	239	79	8	170	2012	80	159(4)	137(2)	133(2)	1	3	7
	計	6767	6427	413	146	24	268	6009	150	263(9)	208(3)	194(2)	2	12(1)	22

※一次検査の有所見内訳は延べ数、指導区分の( )内の数値は病院紹介者数で内数

※二次・三次検査(再検結果)の( )内の数値は三次検査実施者数で外数

#### ④聴力検査

2018年度と2019年度の聴力検査結果を表22に、最近5年間の一次検査有所見率を図12に示した。

一次検査の有所見率は、2018年度・2019年度ともに1.2%(前回1%程度)となっている。一方、二次検査の受検率は2018年度80.8%、2019年度83.0%(前回7~8割)である。健診当日、再検査期間を個別に説明し、健康診断証明書申請の際に、未受診者の再検査を実施している。有所見者の中には、以前から聴力異常を指摘されているなど、すでに経過観察中の学生が多い。

表 22 聴力検査結果

年度	対象者数		受検者数 (%)	一次検査							二次検査(病院紹介結果)			
				有所見者	所見内訳		指導区分			受検者数	指導区分			
					低音域	高音域	異常なし	経過観察	病院紹介		異常なし	経過観察	精密検査	
2018	男	4122	3087(74.9)	33	15	29	3054	6	27	22	7	12	3	
	女	2626	2285(87.0)	31	12	26	2254	6	25	20	4	11	5	
	計	6748	5372(79.6)	64	27	54	5308	12	52	42	11	23	8	
2019	男	4141	3168(76.5)	37	18	31	3131	10	27	22	7	10	5	
	女	2626	2266(86.3)	26	14	20	2240	6	20	17	7	8	2	
	計	6767	5434(80.3)	63	32	51	5371	16	47	39	14	18	7	

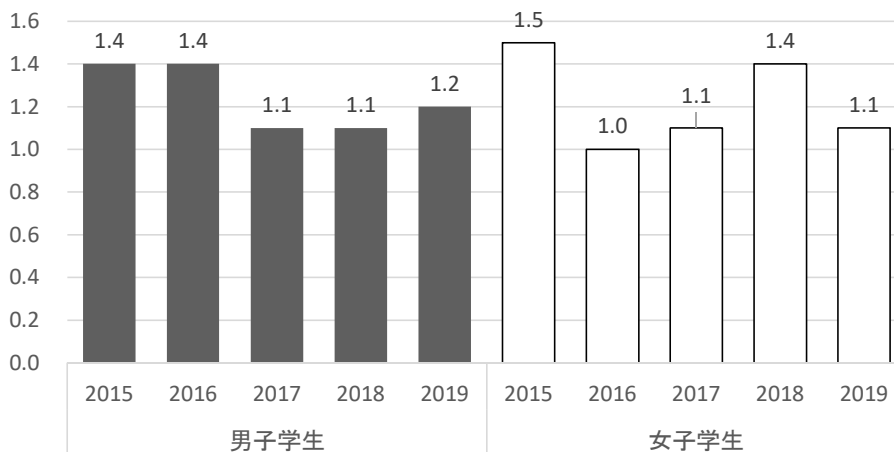


図 12 聴力一次検査有所見率(過去5年間)

### ⑤胸部 X 線検査

2018 年度と 2019 年度の胸部 X 線検査結果を表 23 に、最近 5 年間の肺野有所見率を図 13 に示した。一次検査の肺野有所見率は 2018 年度 1.0%、2019 年度 0.6% (前回: 0.9% <2016>、1.3% <2017>) であった。

表 23 胸部 X 線検査結果

年度	対象者数		受検者数 (%)	一次検査						二次検査(病院紹介結果)			
				有所見者	所見内訳		指導区分			受検者数	指導区分		
					肺野	肺野外	異常なし	経過観察	病院紹介		異常なし	経過観察	精密検査
2018	男	4122	3085(74.8)	40	32	8	3047	5	34	29	23	4	2
	女	2626	2280(86.8)	22	21	1	2258	0	22	22	22	0	0
	計	6748	5365(79.5)	62	53	9	5305	5	56	51	45	4	2
2019	男	4141	3127(75.5)	28	22	6	3119	3	5	4	4	0	0
	女	2626	2240(85.3)	20	9	11	2235	2	3	3	3	0	0
	計	6767	5367(79.3)	48	31	17	5354	5	8	7	7	0	0

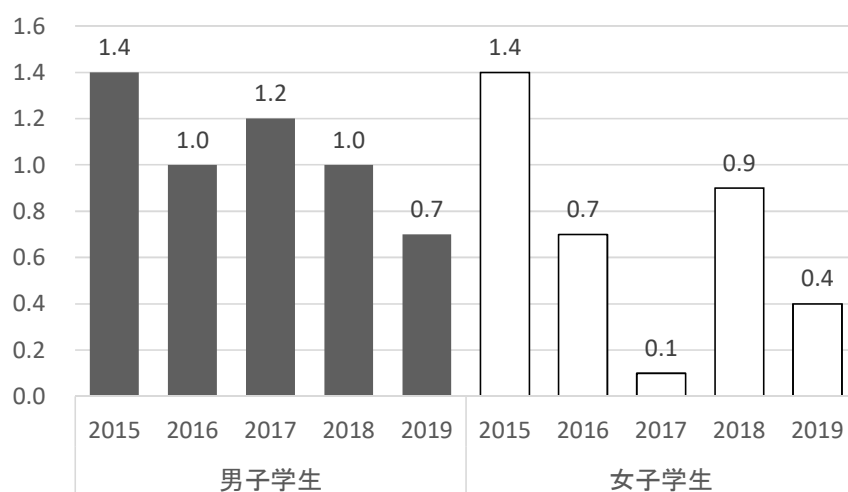


図 13 肺野有所見率(過去 5 年間)

### ⑥心電図検査

2018 年度と 2019 年度の学部生の心電図検査結果を表 24 に示した。

一次検査における有所見率は、2018 年度 5.2%、2019 年度 2.1% (前回: 31.5% <2016>、27.4% <2017>) であった。保健管理センター専任医師による追加判定や附属病院循環器内科非常勤医師への心電図判定依頼で、二次検査該当率は 0.3~0.5% 程度であった。

表 24 心電図検査結果

年度	対象者数		受検者数 (%)	一次検査				二次検査(病院紹介結果)			
				有所見者 (%)	指導区分			受検者数	指導区分		
					異常なし	経過観察	病院紹介		異常なし	経過観察	精密検査
2018	男	1567	1546(98.7)	104(6.7)	1142	94	10	8	7	1	0
	女	1508	1488(98.7)	54(3.6)	1434	54	0	0	0	0	0
	計	3075	3034(98.7)	158(5.2)	2876	148	10	8	7	1	0
2019	男	1562	1549(99.2)	30(1.9)	1520	24	5	4	3	1	0
	女	1482	1465(98.9)	33(2.2)	1432	23	10	8	8	0	0
	計	3044	3014(99.0)	63(2.1)	2952	47	15	12	11	1	0



⑦内科診察・問診(自覚症状及び既往歴等)

2018年度と2019年度の問診票有所見結果を表25に、最近5年間の年度別一次検査有所見率を図14に示した。問診票内容から、現病歴や何らかの自覚症状のある学生の割合(有所見率)は、2018年度47.6%、2019年度51.7%(前回:29.7%<2016>、24.7%<2017>)であった。なお、保健管理センター医師の問診等により、二次検査対象者の割合は、2018年度1.3%、2019年度2.0%(前回:0.9%<2016>、0.7%<2017>)であった。病院紹介により、早期診断・治療に結びついた例も数例ではあるが認められた。

表25 内科診察・問診有所見結果

年度	対象者数		受検者数(%)	一次検査				二次検査(呼出結果)			
				有所見者(%)	指導区分			受検者数	指導区分		
					異常なし	経過観察	要精査要治療		異常なし	経過観察	病院紹介
2018	男	4122	2442(59.2)	1123(46.0)	1857	555	30	29	7	10	12
	女	12626	1589(60.5)	795(50.0)	1158	410	21	17	1	5	11
	計	6748	4013(59.7)	1918(47.6)	3015	965	51	46	8	15	23
2019	男	4141	2504(60.5)	1201(29.0)	1920	546	38	37	5	18	14
	女	2626	1472(56.1)	856(32.6)	1012	417	43	41	4	16	21
	計	6767	3976(58.8)	2057(51.7)	2932	963	81	78	9	34	35

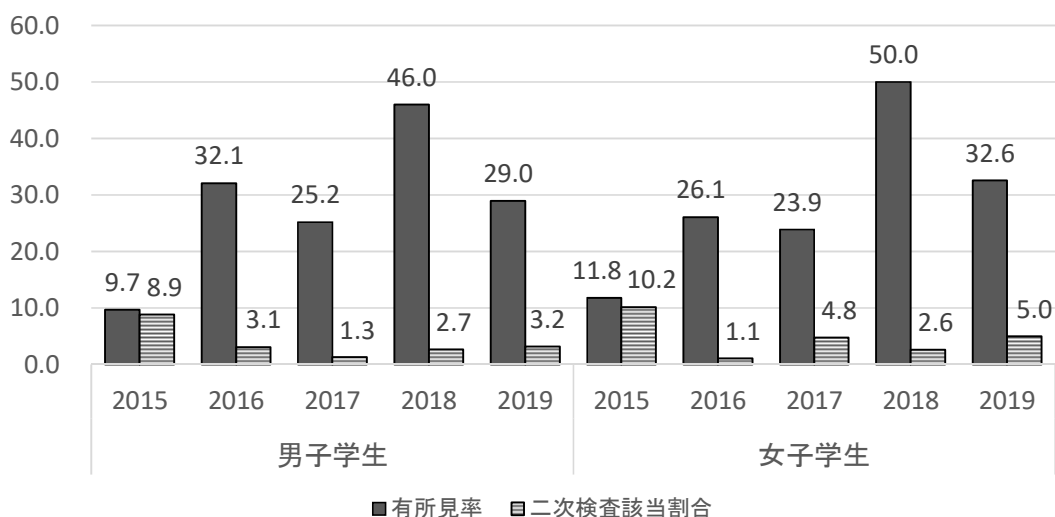


図14 問診一次検査有所見率(過去5年間)

### (3) 大学院生健康診断概況

過去 10 年間の大学院生の健康診断受診率を図 15 に示した。

大学院生全体の受診率は、2010 年と比べると増加傾向にあり 7 割を超えている。ただし、依然として医学系大学院生の受診率が低い。医療機関での診療業務が学内健診受診を難しくしているのかもしれない。学外での健診結果提出をさらに徹底したいと考えている。

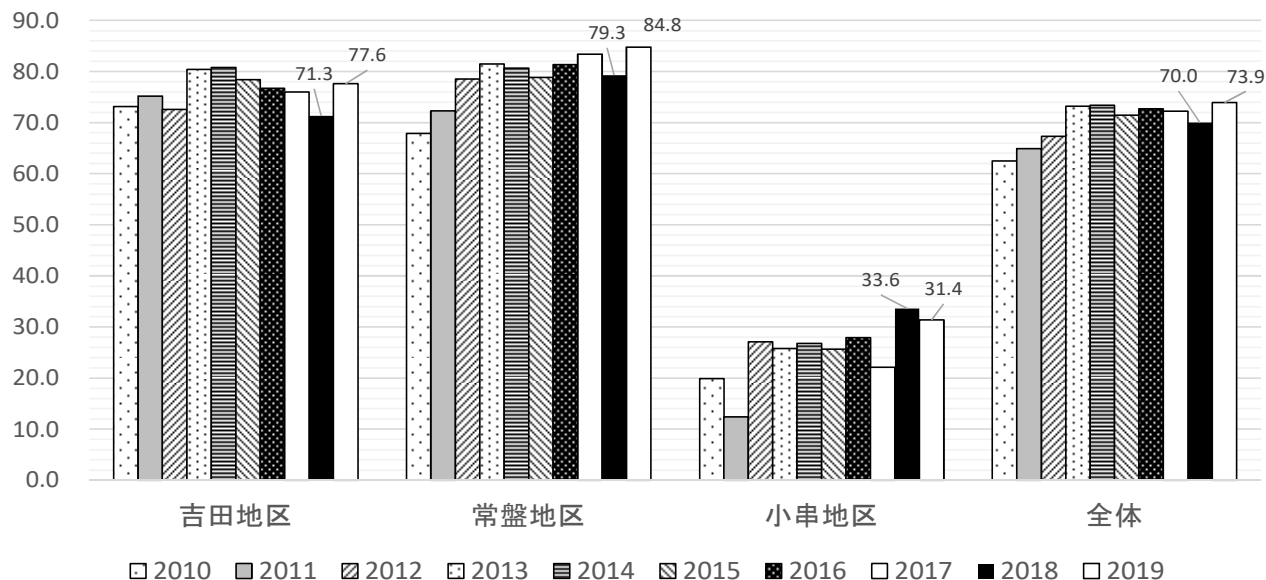


図 15 大学院生受診率 (過去 7 年間)

### (4) 大学院生健康診断結果

#### ① 身長・体重計測

2018 年度と 2019 年度の大学院生の BMI 判定結果を表 26 に示した。

男女とも約 7 割は正常範囲の BMI である。肥満 1 度・肥満 2 度に該当する学生は女子より男子の方が多。一方、女子のやせ該当者は若干減少傾向となっている。

表 26 BMI 判定結果

年度	対象者数		受検者数 (%)	判定結果区分(%)					
				やせ	適正	肥満1度	肥満2度	肥満3度	肥満4度
2018	男	1121	778(69.4)	101(13.0)	536(68.9)	113(14.5)	22(2.8)	4(0.5)	2(0.3)
	女	363	241(63.4)	56(23.2)	161(66.8)	19(7.9)	3(1.2)	2(0.8)	0(0.0)
	計	1484	1019(68.7)	157(15.4)	697(68.4)	132(13.0)	25(2.5)	6(0.6)	2(0.2)
2019	男	1092	775(71.0)	80(10.3)	555(71.6)	104(13.4)	29(3.7)	6(0.8)	1(0.1)
	女	336	227(67.6)	40(17.6)	16(70.9)	22(9.7)	3(1.3)	1(0.4)	0(0.0)
	計	1428	1002(70.2)	120(12.0)	716(71.5)	126(12.6)	32(3.2)	7(0.7)	1(0.1)

#### ② 血圧測定

2018 年度と 2019 年度の血圧測定結果を表 27 に示した。

一次検査における有所見率は、男子が 2018 年度 7.8%、2019 年度 5.3% (前回 : 7.4% <2016>、10.2% <2017>)、女子が 2018 年度 2.5%、2019 年度 2.2% (前回 : 3.1% <2016>、3.3% <2017>) であった。男子の方が高血圧・境界域に該当する者の比率が高く、男子に肥満度 1 度・2 度該当者が多いこととの関連性が示唆される。

表 27 血圧測定結果

年度	対象者数		受検者数 (%)	一次検査				二次検査(呼出結果)				
				高血圧	境界域	正 常	低血圧	対象 者数	指導区分			
									異常 なし	経過 観察	病院 紹介	未検 査
2018	男	1121	778(69.4)	6	55	717	0	35	24	1	0	10
	女	363	240(66.1)	2	3	234	1	4	3	1	0	0
	計	1484	1018(71.8)	7	58	951	1	39	27	2	0	10
2019	男	1092	775(71.0)	4	35	734	2	21	19	0	0	2
	女	336	227(67.6)	1	4	222	0	1	1	0	0	0
	計	1428	1002(70.2)	5	39	956	2	22	20	0	0	2

## ③尿検査

2018年度と2019年度の尿検査結果を表28に示した。

一次検査における有所見率は、2018年度9.5%、2019年度8.7%(前回:2.1%<2016>、7.3%<2017>)、二次検査の受検率は2018年度90.3%、2019年度95.1%(前回:71.4%<2016>、86.5%<2017>)であり、受検率の向上が認められた。

表 28 尿検査結果

年度	対象者数		受検者数	一次検査							二次・三次検査(再検結果)				病院 紹介 件数
				有所見者	有所見内訳			指導区分			受検者数	指導区分			
					蛋白	糖	潜血	異常なし	経過観察	再検紹介		異常なし	経過観察	要精査	
2018	男	1121	779	63	29	6	31	716	18	45(2)	39	35	2	2	4
	女	363	238	34	10	2	24	203	16	19	17	17	0	0	1
	計	1484	1017	97	39	8	55	919	34	64(2)	56	52	2	2	5
2019	男	1092	774	65	16	9	43	709	35	30(3)	24	21	2	1	4
	女	336	221	22	4	2	18	199	8	14	15	14	1	0	0
	計	1428	995	87	20	11	61	908	43	44(3)	39	35	3	1	4

※一次検査の有所見内訳は延べ数、指導区分の( )内の数値は病院紹介者数で内数

※二次・三次検査(再検結果)の( )内の数値は三次検査実施者数で外数

## ④聴力検査

2018年度と2019年度の聴力検査結果を表29に示した。

一次検査の有所見率は、2018年度2.6%、2019年度2.6%(前回:2.6%<2016>、1.7%<2017>)であった。また二次検査の受検率は、2018年度75.0%、2019年度95.2%(前回:71.4%<2016>、86.7%<2017>)と上昇傾向にある。再検査期間を個別に説明し、健康診断証明書申請の際に未受診者の再検査を実施していることも、二次検査受検率改善に効果を現していると思われる。

表 29 聴力検査結果

年度	対象者数		受検者数 (%)	一次検査						二次検査(病院紹介結果)			
				有所見者	所見内訳		指導区分			受検者数	指導区分		
					低音域	高音域	異常なし	経過観察	病院紹介		異常なし	経過観察	精密検査
2018	男	1121	778(69.4)	22	9	19	756	6	16	13	3	8	2
	女	363	241(66.4)	5	3	5	236	1	4	2	1	1	0
	計	1484	1019(68.7)	27	12	24	992	7	20	15	4	9	2
2019	男	1092	774(70.9)	18	7	16	756	5	13	13	6	6	1
	女	336	227(67.6)	8	5	5	219	0	8	7	6	0	1
	計	1428	1001(70.1)	26	12	21	975	5	21	20	12	6	2

⑤胸部 X 線検査

2018 年度と 2019 年度の胸部 X 線検査結果を表 30 に示した。

一次検査の肺野有所見率は、2018 年度 1.6%、2019 年度 0.9%(前回：1.3%<2016・2017>)であった。一方、二次検査の結果、要精査となった者は過去 2 年間で 1 名だけであった。

表 30 胸部 X 線検査結果

年度	対象者数		受検者数 (%)	一次検査						二次検査(病院紹介結果)			
				有所見者	所見内訳		指導区分			受検者数	指導区分		
					肺野	肺野外	異常なし	経過観察	病院紹介		異常なし	経過観察	精密検査
2018	男	1121	779(69.5)	14	12	2	765	3	11	10	10	0	0
	女	363	239(65.8)	5	4	1	234	0	5	5	4	1	0
	計	1484	1018(68.6)	19	16	3	999	3	16	15	14	1	0
2019	男	1092	763(69.9)	7	7	0	761	1	1	0	0	0	0
	女	336	220(65.5)	2	2	0	218	1	1	1	0	0	1
	計	1428	983(68.8)	9	9	0	979	2	2	1	0	0	1

⑥心電図検査

2018 年度と 2019 年度の大学院生の心電図検査結果を表 31 に示した。

一次検査における有所見率は、2018 年度 3.4%、2019 年度 2.6%(前回：29.9%<2016>、31.3%<2017>)であった。保健管理センター専任医師と附属病院循環器内科非常勤医師による再判定の結果、二次検査該当率は 2018 年度 0%、2019 年度 0.3%(前回：0.6%<2016>、0.8%<2017>)であった。

表 31 心電図検査結果

年度	対象者数		受検者数 (%)	一次検査				二次検査(病院紹介結果)			
				有所見者 (%)	指導区分			受検者数	指導区分		
					異常なし	経過観察	病院紹介		異常なし	経過観察	精密検査
2018	男	329	216(65.6)	7(3.2)	209	7	0	0	0	0	0
	女	181	132(72.9)	5(3.8)	127	5	0	0	0	0	0
	計	510	348(68.2)	12(3.4)	336	12	0	0	0	0	0
2019	男	304	214(70.4)	8(3.7)	206	7	1	1	1	0	0
	女	171	135(78.9)	1(0.7)	134	1	0	0	0	0	0
	計	475	349(73.5)	9(2.6)	340	8	1	1	1	0	0

⑦内科診察・問診(自覚症状及び既往歴等)

2018 年度と 2019 年度の間診票有所見結果を表 32 に示した。

受検者における有所見者の割合は、2018 年度 36.2%、2019 年度 35.3%(前回：25.8%<2016>、17.8%<2017>)であった。なお、保健管理センター医師の間診等により、二次検査対象者の割合は 2018 年度 1.9%、2019 年度 4.0%(前回：1.8%<2016>、0.9%<2017>)であった。その一部は病院紹介まで至っており、疾病の早期発見にもつながったものと思われた。

表 32 内科診察・問診有所見結果

年度	対象者数		受検者数(%)	一次検査				二次検査(呼出結果)			
				有所見者 (%)	指導区分			受検者数	指導区分		
					異常なし	経過観察	要精査要治療		異常なし	経過観察	病院紹介
2018	男	1121	678(60.5)	228(33.6)	509	159	10	10	2	3	5
	女	363	169(46.6)	79(46.7)	115	48	6	6	0	1	5
	計	1484	847(57.1)	307(36.2)	624	207	16	16	2	4	10
2019	男	1092	693(63.5)	221(31.9)	566	123	4	4	1	1	2
	女	336	154(45.8)	78(50.6)	111	35	8	6	0	4	2
	計	1428	847(59.3)	299(35.3)	677	158	12	10	1	5	4

## 5) 秋季入学生等健康診断

### (1) 対象と概要

2012年度より留学生センターからの依頼を受け、10月入学の留学生を対象に11月末～12月上旬に留学生健康診断を実施してきた。2012年度には、山口大学交流規則および外国人留学生規則で定められている健康診断書の提出について再検討がなされ、その結果、身分や在籍期間に関わらず、健康診断書の提出を求めないこと(入学後すみやかに健康診断を受診する方針)が決まった。また、秋季入学生(留学生を除く)についても、次年度当初の健康診断を受診することで対応してきたが、入学後できるだけ早い時期に健康診断を実施することが望まれた。

これらの流れを受け、2012年度からは、これまでの留学生健康診断を「秋季入学生健康診断」と位置づけ、秋季入学者全員(非正規生を含む)を対象として、入学直後の10月中～下旬に健康診断を実施することとなった。さらに、2017年度からは、4月の定期健康診断時に正当な理由(海外留学していた等)で受診できなかった在学学生も受診対象に加え、「秋季入学生等健康診断」として実施している。健康診断時期についても、関係部署間で協議を行った結果、来日直後の9月下旬から10月中旬に実施することとなった。これは、対象者の受講カリキュラムへの配慮によるものである。

健診日程を表33に、対象者数を表34～37に示す。

表33 秋季入学生等健康診断日程

年度	実施地区	健診日程
2018	吉田地区	9月26日(水)・28日(金)、10月12日(金)
	常盤地区	10月12日(金)
	小串地区	10月12日(金) ※常盤地区にて受診
2019	吉田地区	9月25日(水)・27日(金)、10月7日(月)
	常盤地区	10月1日(火)
	小串地区	10月1日(火) ※常盤地区にて受診

表34 2018年度 秋季入学生健康診断対象者数

学部	正規生	研究生等	合計
人文学部	0	9	9
教育学部	0	11(3)	11(3)
経済学部	0	15	15
理学部	0	3	3
医学部	0	0	0
工学部	0	10(1)	10(1)
農学部	0	0	0
共同獣医学部	0	1	1
国際総合科学部	0	63	63
大学院人文科学研究科(修士課程)	0	3	3
大学院教育学研究科(修士課程)	0	1	1
大学院経済学研究科(修士課程)	21(1)	1	22(1)
大学院東アジア研究科(後期3年博士)	4	0	4
大学院医学系研究科(医学博士課程)	3(1)	0	3(1)
大学院創成科学研究科(博士前期)	13(2)	0	19(2)
大学院創成科学研究科(博士後期)	13(6)	6	19(6)
大学院技術経営研究科	7	0	7
大学院共同獣医学研究科(博士課程)	2	0	2
大学院連合農学研究科	0	0	0
合計	63(10)	123(4)	186(14)

( ) 内は日本人学生数で内数 対象者186名のうち、留学生が172名、留学生以外が14名であった。

表 35 2018 年度 長期留学等正当な理由による健康診断対象者数（在学生）

学部	正規生	研究生等	合計
人文学部	5	0	5
教育学部	2	0	2
経済学部	2	0	2
国際総合科学部	103	0	103
合計	112	0	112

表 36 2019 年度 秋季入学生健康診断対象者数

学部	正規生	研究生等	合計
人文学部	0	19	19
教育学部	0	18(1)	18(1)
経済学部	0	12	12
理学部	0	1	1
医学部	0	0	0
工学部	0	7	7
農学部	0	1	1
共同獣医学部	0	2	2
国際総合科学部	0	71	71
大学院人文科学研究科(修士課程)	0	8	8
大学院教育学研究科(修士課程)	0	0	0
大学院経済学研究科(修士課程)	23(1)	1	24(1)
大学院東アジア研究科(後期3年博士)	3	0	3
大学院医学系研究科(医学博士課程)	3(1)	0	3(1)
大学院創成科学研究科(博士前期)	15	11	26
大学院創成科学研究科(博士後期)	15(6)	0	15(6)
大学院技術経営研究科	2	0	2
大学院共同獣医学研究科(博士課程)	2(2)	0	2(2)
大学院連合農学研究科	1	0	1
合計	64(10)	151(1)	215(11)

( )内は日本人学生数で内数 対象者 215 名のうち、留学生在が 204 名、留学生以外が 11 名であった。

表 37 2019 年度 長期留学等正当な理由による健康診断対象者数（在学生）

学部	正規生	研究生等	合計
人文学部	1	0	1
国際総合科学部	91	0	91
合計	92	0	92

対象学生には、関係部署の協力を得て受診案内文書を個別に配布することにより、受診勧奨を行っている。特に、留学生においては、奨学金申請に必要な健康診断証明書の発行には健康診断受診が必須であること、外部医療機関での健康診断受診は経済的負担が大きいこと、結核高蔓延国からの留学生も含まれていること等もあり、指導教員からの受診勧奨も併せてお願いしている。

なお、本学で実施する健康診断の全ての項目を満たす、入学年度の4月1日以降の健康状態を証明する文書（健康診断結果の写しでも可）を提出する場合でも、秋季入学生等健康診断受診に代えることができる。健康診断の検査項目は、春季健康診断項目と同様で「問診票記入」、「尿検査」、「血圧測定」、「視力検査」、「聴力検査」、「身長・体重計測」、「胸部X線検査」、「心電図検査」、「内科診察」である。

## (2) 受診状況

秋季入学者の受診率\*は、2018年度 95.1%、2019年度 99.0%であった。また、長期留学等正当な理由で本健診対象となった在学生の受診率\*は、2018年度 91.1%、2019年度 97.8%であった。(※受診率には、後日健康診断結果を提出した場合も含む。)

以下に、秋季入学生等健康診断の受診状況を示す(表 38～41)。

表 38 2018年度 秋季入学生健康診断受診状況

学部	対象者内訳			受診状況内訳		
	入学者数	受診対象外*	(入学者数)- (受診対象外)	受診者	結果提出	未受診
人文学部	9	0	9	9	0	0
教育学部	11(3)	0	11(3)	8	3(3)	0
経済学部	15	0	15	15	0	0
理学部	3	0	3	3	0	0
医学部	0	0	0	0	0	0
工学部	10(1)	1(1)	9	8	0	1
農学部	0	0	0	0	0	0
共同獣医学部	1	0	1	1	0	0
国際総合科学部	63	2	61	61	0	0
大学院人文科学研究科(修士課程)	3	0	3	3	0	0
大学院教育学研究科(修士課程)	1	0	1	1	0	0
大学院経済学研究科(修士課程)	22(1)	3	19(1)	18	(1)	0
大学院東アジア研究科(後期3年博士)	4	1	3	3	0	0
大学院医学系研究科(医学博士課程)	3(1)	1(1)	2	0	0	1
大学院創成科学研究科(博士前期)	19(2)	6(1)	13(1)	12	0	1(1)
大学院創成科学研究科(博士後期)	13(6)	5(1)	8(5)	2	1(1)	5(4)
大学院技術経営研究科	7	2	5	5	0	0
大学院共同獣医学研究科(博士課程)	2	2	0	0	0	0
大学院連合農学研究科	0	0	0	0	0	0
合計	186(14)	23(4)	163(10)	150	5(5)	8(5)

※表中の( )は留学生以外的人数

受診対象外者\*:4月に在籍、連合獣医学研究科で本学以外の配属の場合

表 39 2018年度 長期留学等正当な理由による健診対象者(在学生)の受診状況

学部	対象者数	受診者	結果提出	未受診
人文学部	5	3	0	2
教育学部	2	0	0	2
経済学部	2	2	0	0
国際総合科学部	103	97	0	6
合計	112	102	0	10

表 40 2019 年度 秋季入学生健康診断受診状況

学部	対象者内訳			受診状況内訳		
	入学者数	受診対象外*	(入学者数)- (受診対象外)	受診者	結果提出	未受診
人文学部	19	0	19	19	0	0
教育学部	18(1)	0	18(1)	17	1(1)	0
経済学部	12	0	12	12	0	0
理学部	1	0	1	1	0	0
医学部	0	0	0	0	0	0
工学部	7	0	7	7	0	0
農学部	1	0	1	1	0	0
共同獣医学部	2	0	2	2	0	0
国際総合科学部	71	0	71	71	0	0
大学院人文科学研究科(修士課程)	8	0	8	8	0	0
大学院教育学研究科(修士課程)	0	0	0	0	0	0
大学院経済学研究科(修士課程)	24(1)	2	22(1)	21	1(1)	0
大学院東アジア研究科(後期3年博士)	3	0	3	3	0	0
大学院医学系研究科(医学博士課程)	3(1)	0	3(1)	2(1)	1	0
大学院創成科学研究科(博士前期)	26	8	18	15	3	0
大学院創成科学研究科(博士後期)	15(6)	5(3)	10(3)	6	2(2)	2(1)
大学院技術経営研究科	2	1	1	1	0	0
大学院共同獣医学研究科(博士課程)	2(2)	0	2(2)	0	2(2)	0
大学院連合農学研究科	1	1	0	0	0	0
合計	215(11)	17(3)	198(8)	186(1)	10(6)	2(1)

※表中の( )は留学生以外的人数で内数

受診対象外者\*:4月に在籍、連合獣医学研究科で本学以外の配属の場合

表 41 2019 年度 長期留学等正当な理由による健診対象者(在学生)の受診状況

学部	対象者数	受診者	結果提出	未受診
人文学部	1	1	0	0
国際総合科学部	91	87	2	2
合計	92	88	2	2



## 2. 特別健康診断

保健管理センターでは、定期健康診断以外に必要なに応じて臨時に健康診断を実施している。以下に、特別健康診断の概要と受診状況について示す。

### 1) スポーツ関係者健康診断

#### (1) 対象と概要

保健管理センターでは、スポーツ実習や課外活動行事へ参加するために必要な健康診断を実施している。申し込み窓口は、授業の一環として実習・合宿等に参加の場合は学部学務係、課外活動行事(対外試合参加、合宿参加など)の場合は学生支援課であり、そこからの依頼を受けて健康診断を実施している。ただし、安全面への考慮から、「当該年度の定期健康診断を受診していること」が本健診の受診条件である(未受診の場合は原則として受診を認めない)。

検査項目は、①問診票記入(スポーツ行事用)、②尿検査、③血圧検査、④心電図検査、⑤内科診察の5項目を基本項目としており、受検理由によって、検査項目を一部省略することもある。検査終了後、内科診察時にスポーツ関連行事に参加して差し支えない健康状態であるか否かを判定している。検査結果によっては、専門医療機関を紹介し、診断書の提出を求める場合もある。

本健診における健康診断書は、健康診断終了後できるだけ速やかに、保健管理センター所定様式または提出先指定様式にて作成し、それぞれの窓口へ送付している。

この健康診断のうち、「学長杯駅伝大会参加者健康診断」は対象者が多いため、簡易問診票を用いた一次スクリーニング(一次健康診断)を実施している。これは、問診票の記載内容および当該年度の健康診断結果に基づき、保健管理センター医師が二次健康診断の省略の可否を判定するものである。二次健康診断の対象となった者には、上記①~⑤のうち必要な検査項目を実施しており、未受診の場合は駅伝大会への参加を認めないこととしている。

#### (2) 受診状況

2018年度及び2019年度のスポーツ関係者の健康診断実施結果を表42、43に示した。

スポーツ関係者健康診断は、「異常なし」、「要注意」、「中止」で判定する。「要注意」とは、健康診断時の検査結果はわずかに異常を認めるものの、参加を禁ずるほどではなく、当日の体調や大会時の天候に応じて負担を軽減する必要がある者を意味している。

2018年度及び2019年度の受診者数の総計はそれぞれ179名と157名であった。

表 42 スポーツ関係者の健康診断実施結果(2018年度)

実施日	サークル名 団体名	受診者数	有所見者数				異常なし	要注意	中止	受検理由(参加大会、行事名)
			問診・診察	尿	血圧	心電図				
4/13,17,18,27	空手道部	9	2	-	-	2	5	4	0	第 43 回中四国学生空手道選手権大会参加 第 56 回西日本大学空手道選手権大会
6/6, 13	教育学部	15	1	-	-	-	14	1	0	水泳実習参加
7/17, 18	教育学部	27	2	-	-	2	26	1	0	キャンプ実習参加
7/17, 18, 20	サイクリング部	28	-	-	-	6	28	0	0	夏合宿参加
8/28, 9/3	空手道部	11	3	-	-	2	7	4	0	第 56 回中四国大学空手道選手権大会参加
10/15, 16, 17	教育学部	20	-	-	-	5	20	0	0	ロードレース実習参加
10/30, 11/5, 8, 9, 12	学長杯駅伝参加者*注1	34	2	-	-	1	32	2	0	第 65 回学長杯争奪駅伝大会参加
11/7, 9	空手道部	11	2	-	-	2	7	4	0	第 62 回全日本大学空手道選手権大会参加
2/6,7,9, 3/6,20	サイクリング部	24	1	1	1	8	23	1	0	春合宿参加

\*注1：学長杯駅伝参加希望者 60 人に問診票判定を実施し、34 人が健康診断対象者として抽出された。

表 43 スポーツ関係者の健康診断実施結果(2019年度)

実施日	サークル名 団体名	受診者数	有所見者数				異常なし	要注意	中止	受検理由(参加大会、行事名)
			問診・診察	尿	血圧	心電図				
4/16,17,22,23	空手道部	7	2	-	-	1	5	2	0	第 44 回中四国学生空手道選手権大会参加
4/16,17,22,23 5/13	空手道部	7	2	-	-	1	5	2	0	第 57 回西日本大学空手道選手権大会参加
8/5, 6	教育学部	27	4	-	-	-	23	4	0	キャンプ実習参加
7/30, 31 8/5,6,10,21,22	サイクリング部	32	4	-	-	5	28	4	0	夏合宿参加
9/2, 4	空手道部	10	3	-	-	-	7	3	0	第 57 回中四国大学空手道選手権大会参加 第 63 回全日本大学空手道選手権大会参加
10/21, 29	教育学部	19	4	-	-	-	15	3	1	ロードレース実習参加
11/1,5,6,13,14	学長杯駅伝参加者*注2	44	5	-	-	-	39	3	2	第 66 回学長杯争奪駅伝大会参加
2/12, 17	サイクリング部	11	3	-	-	-	8	3	0	春合宿参加

\*注2：学長杯駅伝参加希望者 67 人に問診用判定を実施し、44 人が健康診断対象者として抽出された。

## 2) 獣医師免許取得のための健康診断

### (1) 対象と概要

対象は共同獣医学部獣医学科 6 年生(約 30 名)である。対象者の条件として、学生定期健康診断を全項目受診していることと、その年度に卒業見込みであることの 2 つを満たしていなければならない。

12 月下旬頃に共同獣医学部学務係より依頼を受け、例年 1～2 月に健康診断を実施している。検査内容は、心理検査(2014 年度までは MMPI、2015 年度からは SDS)と、その結果に基づいた医師による個別の面接である。

### (2) 受診状況

2018 年度及び 2019 年度の健康診断実施日と受診者数は以下の通りである。

表 44 獣医師免許取得に伴う健康診断概要

年度	健康診断実施日	受診者数
2018	1 月 25 日, 2 月 1 日	28 名
2019	1 月 23 日	33 名

## 3) 肺結核接触者健康診断

### (1) 対象と概要

定期健康診断や保健所からの報告で「肺結核」の学生や職員が発生した場合は、保健所の指示に従って必要な対応を行っている。

### (2) 受診状況

2018 年度職員定期健康診断後の精密検査にて職員 1 名、2019 年度秋季入学生健康診断後の精密検査にて学生(留学生) 1 名が結核と診断されたが、ともに排菌を認めなかったため、接触者健康診断の実施はなかった。

#### 4) 帰国後健康状況チェック

##### (1) 対象と概要

山口大学では、1か月(原則28日)間以上海外に滞在した学生を対象に、帰国後1か月間の健康チェックを実施している。

帰国時～帰国後最低2週間は、体調不良の有無を「健康状況チェックリスト」を参考に、各自で健康状態のチェックを行い、該当する症状がある場合には速やかに医療機関への相談・受診を促すものである。なお、帰国後1か月を目処に、「帰国後1か月間の健康状況報告書」を保健管理センターに提出をお願いしている。

##### (2) 受診状況

2018年度の健康状況報告書の提出者数は136名、2019年度では220名であった。そのうち、「該当症状あり」のものは、8名、10名であった。学部別・渡航先別・渡航目的別での提出状況は以下の通りである。

表 45 2018年度 海外渡航後1か月間の健康状況調査提出者数(学部別)

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計		
	チェックリスト 該当の有無	該当症状なし あり	該当症状なし あり	該当症状なし あり	該当症状なし あり	該当症状なし あり	該当症状なし あり	該当症状なし あり	該当症状なし あり	該当症状なし あり	該当症状なし あり	該当症状なし あり	該当症状なし あり	該当症状なし あり	該当症状なし あり	該当症状なし あり	該当症状なし あり	該当症状なし あり	該当症状なし あり	該当症状なし あり	該当症状なし あり	該当症状なし あり	該当症状なし あり	該当症状なし あり	該当症状なし あり	該当症状なし あり	該当症状なし あり
学部 研究科	人文	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	4	0	
	教育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経済	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	5	1	0	0	0	0	0	1	0	0	10	1
	理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	医	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	0	0	0	4	1
	工	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
	農	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	7	1	0	0	1	0	0	0	11	1
	共同獣医	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	国際総合	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	90	4	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	91	5
	大学院	人文科学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教育学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経済学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東アジア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
理工学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医学系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
創成科学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5	0	
技術経営	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
連合獣医	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	
連合農学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	94	4	8	2	12	1	2	0	6	1	2	0	128	8	
		1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	98	4	10	2	13	1	2	0	7	1	2	0	136	8	

★該当症状ありの者については、個別に連絡を取り症状の確認を行った。

表 46 2018 年度 海外渡航後 1 か月間の健康状況調査提出者数（渡航先別）

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり
渡航先	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	58	2	7	1	12	1	0	0	1	0	2	0	84	4
アジア	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	8	0
・中国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
・韓国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	1
・台湾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	10	0	0	0	1	0	0	0	0	17	0
・タイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
・ベトナム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0
・フィリピン	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	1	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	2
・インドネシア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	4	1	
・シンガポール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
・マレーシア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	7	0
・スリランカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アフリカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヨーロッパ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	2
・フランス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0
・イギリス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
・ドイツ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0
・スイス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1
・ハンガリー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
・リトアニア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0
・ラトビア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
北アメリカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1	0	0	0	0	0	0	4	1	0	0	10	2	
・アメリカ合衆国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	4	1	0	0	0	10	1	
・カナダ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
南アメリカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	
・ボツワナ共和国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
オセアニア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	8	0	
・オーストラリア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	6	0	
・ニュージーランド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	
合計	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	98	4	8	2	12	1	2	0	6	1	2	0	128	8	

※2名フィリピン→台湾への渡航者あり(フィリピン渡航者として集計)

☆該当症状ありの者については個別に連絡を取り症状の確認を行った。

表 47 2018 年度 海外渡航後 1 か月間の健康状況調査提出者数（渡航目的別）

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり	該当 症状なし	あり
渡航目的	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	90	3	6	2	10	1	1	0	6	1	2	0	119	7
留学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	4	1
研修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
個人旅行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一時帰国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0
合計	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	94	4	8	2	12	1	2	0	6	1	2	0	128	8

※その他(インターンシップ、ワーキングホリデー)

☆該当症状ありの者については個別に連絡を取り症状の確認を行った。





表 50 2019 年度 海外渡航後 1 か月間の健康状況調査提出者数（渡航目的別）

月 渡航目的	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合 計		
	該 当 症 状 な し	該 当 症 状 あ り	該 当 症 状 な し	該 当 症 状 あ り	該 当 症 状 な し	該 当 症 状 あ り	該 当 症 状 な し	該 当 症 状 あ り	該 当 症 状 な し	該 当 症 状 あ り	該 当 症 状 な し	該 当 症 状 あ り	該 当 症 状 な し	該 当 症 状 あ り	該 当 症 状 な し	該 当 症 状 あ り	該 当 症 状 な し	該 当 症 状 あ り	該 当 症 状 な し	該 当 症 状 あ り	該 当 症 状 な し	該 当 症 状 あ り	該 当 症 状 な し	該 当 症 状 あ り	該 当 症 状 な し	該 当 症 状 あ り	該 当 症 状 な し
留学	1	0	0	0	1	0	2	0	1	0	8	0	82	2	1	0	2	0	11	0	3	0	1	0	113	2	
研修	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	86	7	9	1	0	0	0	0	0	0	0	95	8	
個人旅行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一時帰国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
合計	1	0	0	0	1	0	2	0	1	0	9	0	83	2	87	7	11	1	11	0	3	0	1	0	210	10	
	1		0		1		2		1		9		85		94		12		11		3		1		220		

※その他(ポランディア)

☆該当症状ありの者については個別に連絡を取り症状の確認を行った。